

報告事項カ

県内文化財建造物の新規国登録について

県内文化財建造物の新規国登録について、別紙のとおり報告します。

平成27年7月24日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

# 県内文化財建造物の国新規登録について

平成27年7月24日

文化財課

平成27年7月17日（金）に、国の文化審議会（会長 宮田亮平）から文部科学大臣に次の文化財を新規登録するよう答申されました。

## 【文化財の概要】

### 名称および所在地

- やぎけじゅうたく しゅおく  
○矢城家住宅主屋（倉吉市横田） 1件
- しおたにていこうしゃしんきねんかん しゅおく とう こめぐら しちぐら しんぐら  
○塩谷定好写真記念館主屋、ギャラリー棟、米蔵、質蔵、新蔵（琴浦町赤碓） 5件
- 計 2箇所6件

### 特 徴

#### ○矢城家住宅

矢城家は、明治前期に集落の戸長を務めた。当に残る棟札（むなふだ）から、主屋が大正2年に同集落の大工によって建てられた事がわかっている。

当家住宅主屋は、木造2階建、入母屋造（いりもやづくり）赤色棧瓦葺（せきしょくさんがわらぶき）で、小屋組は西洋の影響を受けて斜め方向に木材を用いるトラス構造を用いている。間取りは元は北側に土間を通した典型的な六間取であったが、現在は一部を改修している。主屋の中央には廻り階段が設けられ、東南の庭園に面した座敷の床の間まわりには枳材（とちざい）が多く用いられる。また、座敷まわりでは、縁側から離して軒支柱（のきしちゅう）を立て、座敷と庭を解放的に繋ぐ。

当家住宅主屋はトラス構造や銘木の多用など近代的特徴を多く取り入れた、質の高い住宅である。



位置図



矢城家住宅主屋 外観



矢城家住宅主屋 内観



小屋組のトラス構造



廻り階段

### ○塩谷定好写真記念館

塩谷家は、幕末から明治にかけて菊港を母港とする廻船問屋を営んだ家で、5代目当主は赤碕町長などの公職を務めた。当館は、昭和初期に「芸術写真」の分野で活躍した塩谷定好の生家でもあり、平成26年から、写真記念館として公開されている。

主屋は明治39年に街道に面して建築された、木造2階建、切妻造平入（きりつまづくりひらいり）の大型の町屋。多数の座敷をもち、各部屋ごとに銘木や螺鈿細工などを使い分け、趣の異なった、質の高い意匠をみせる。

ギャラリー棟は主屋の東に隣接して建つ、土蔵造2階建、切妻造平入の建物で、明治7年に建てられた。元は土蔵であったものを、定好氏が戦後に店舗兼写真スタジオとして改修した。外観は土蔵造の面影を残しており、主屋とともに、街道沿いの町並みの景観に寄与している。

米蔵は明治5年建築で、一部に設けた二階の床、鉄板を張った内壁等、米蔵らしさを残す。

質蔵は明治12年、新蔵は明治35年建築で、米蔵とともに敷地後方の景観を形成する。



位置図



塩谷定好写真記念館 主屋外観



塩谷定好写真記念館 主屋内観



塩谷定好写真記念館 ギャラリー棟内観



塩谷定好写真記念館 米蔵内観



塩谷定好写真記念館 質蔵外観



塩谷定好写真記念館 新蔵外観

登録件数

(1) 鳥取県の国登録文化財、国・県指定文化財総数（今回登録後）

国登録文化財	国指定文化財	県指定文化財
(188)	(18)	(23)
193	120	263

( ) 内は建造物の数

(2) 登録物件の所在する市町村の文化財件数（今回登録後）

	国登録文化財	国指定文化財	県指定文化財
倉吉市	(27) 30	(1) 17	(6) 37
琴浦町	(6) 6	(1) 5	(2) 15

( ) 内は建造物

